

## 現在の居住地及び通学手段等に関するアンケート

### <アンケートの概要>

#### 調査対象

全学教育科目「伊都キャンパスを科学する」を受講している学生  
(担当教員:新キャンパス計画推進室 教授 坂井 猛)

#### 調査日

平成21年6月24日(水) 5時限目(16:40~18:10)

#### 調査方法

授業開始前に、出席者全員にアンケート用紙を配布し、授業終了後にその場で回収

#### 回答数

総数 260名

### <アンケート結果の概要>

#### 問1 あなたの学年は

- ・回答者の90%が「1年生」。「2年生」は7%。

#### 問2 あなたの所属学部は

- ・「工学部」の学生が最も多く43%を占める。次いで「理学部」が14%、「医学部」が10%の順となっている。

#### 問3 あなたの性別は

- ・約8割が「男性」、約2割が「女性」となっている。(留学生は1名のみ)

#### 問4 あなたの現住所は

- ・「福岡市西区」に居住する学生が、全体の48%と最も多く、次いで「前原市」が15%、「福岡市東区」が6%の順となっている。
- ・「福岡市内」に居住する学生が、全体の73%を占めている。
- ・福岡市西区だけで見ると、「桑原」(学生寮ドミトリー)に居住する学生が最も多く、西区全体の25%を占める。次いで「富士見」と「姪浜」が15%、「周船寺」も15%と続いている。
- また、西区の中でも、今宿以西(西部6校区)に住む学生が、西区全体の70%を占めている。

#### 問5 あなたの現在の居住形態は

- ・「アパート・マンション」が最も多く、全体の63%を占める。次いで「自宅・親戚・知人宅」が20%、「学生寄宿舎」が13%の順となっている。

#### 問6 あなたの最後の通学手段は

- ・「昭和バス」利用者が、全体の27%と最も多く、次いで「西鉄バス」の23%、「自転車」22%、「バイク」12%、「すべて徒歩」11%の順となっている。
- ・公共交通機関利用者が、全体の54%を占めている。

#### 問7 地下鉄またはJR筑肥線の利用有無

- ・「利用していない」学生が全体の75%を占める。
- ・昭和バス利用者の中で見ると、「九大学研都市駅から乗車」する学生においては、地下鉄またはJRを利用している割合が高い。(85%;62名中53名が利用)
- 一方、「周船寺、上川原などその他バス停から乗車」する学生において、地下鉄またはJRを利用する割合は低くなっている。(13%;15名中2名が利用)

#### 問8 あなたが下校する主な時間帯は

- ・5時限目が終了する「18時台」が最も多く42%を占め、次いで4時限目が終了する「16時台」が16%となっている。

#### 問9 あなたの下校のタイミングは

- ・「授業(研究)受講後」が最も多く72%を占め、次いで「サークル等の活動後」が15%となっている。

#### 問10 自由記述

(主な意見)

- ・昭和バス、西鉄バス、前原コミュニティバスの本数を増やしてほしい。
- ・土日のバス本数が少ない。
- ・平日、土日とも最終便をもっと遅くしてほしい。
- ・地下鉄からJRに乗り継ぐと初乗り運賃がかかり高い。
- ・伊都キャンパスまで、鉄道や電車を通してほしい。
- ・バスの運賃をもっと安くしてほしい。

#### (自由記述への回答)

公共交通機関の運行につきましては、六本松キャンパスの移転を契機に、この4月から、西鉄バス・昭和バス・前原コミュニティバスにおける定期便の増便及び臨時バスの運行により、伊都キャンパスへの輸送を確保いただいている状況です。

今回いただいたご意見は、交通事業者へ伝えるとともに、より良い交通体系の確保に向け、継続的に協議を進めています。

今後も、バス事業者や関係自治体等と連携しながら、交通インフラの整備促進並びに公共交通機関の利便性向上に努めていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。